

平成27年度 学習指導部 二学期マネジメント 岩美町立岩美中学校

学校教育目標		自ら学び、自ら鍛え、みんなと生きる												
重点努力事項		(1)生活リズムや基本的な生活習慣を身につけさせ、学習規律や学習態度の確立、学習習慣を定着させることによって、基礎学力の向上をめざす。 (2)人間関係を育む学級経営、学習指導、学校行事、生徒会行事、部活動を通して、「学校が楽しくて満足している」と実感できる、共に生きる集団づくりをめざす。 (3)生徒一人ひとりが、価値ある存在として実感することができ、自分の生き方に希望や誇りをもって、自己実現を図っていくことができる学校づくりをめざす。												
分掌重点目標		学び続ける生徒を育成する。(1)学習規律が徹底できる生徒(2)情報を基に、自主的に行動できる生徒												
分掌がめざす生徒の姿	分掌目標Plan	1学期の成果と課題・備言	主な活動 Do	8月	9月	10月	11月	12月	到達目標	評価基準 Check	成果と課題 提言	3学期の重点 目標	来年度への 提言	
生涯、 学び続ける生徒を目指す	学習規律の徹底	話す・聞くの評価の進し方については4月に提案したものを再確認する。 ・実例については学習委員の取り組みの中でこなう。(授業1限の開始時に伝えるなど)意識はしている ・2分前着席ができていない生徒 ・トイレでたむろしている一教員が目に入る	学習規律	話す・聞くの指標を、各教室に掲示し、指標を意識した授業を全教科・全領域で共通実践していく。				姿勢強化週間		生徒に話す・聞く、姿勢、声の大きさを意識させる授業ができる。肯定的な評価80%以上→				
		学習環境一授業開始前に教員が教室を見通す(ロッカーの上、机の整頓、準備など)	学習環境整備	教室の学習環境(ロッカー・机の中・掲示物)が整理整頓されているように指導していく。				時間を守る意識を常に持つ。(授業2分前に教科担任が教室に出ている。授業終了時刻を過ぎない。など)		教職員質問紙「教室の学習環境が整理整頓するように指導することができた。」肯定的な評価90%以上→ 「授業開始2分前には授業に出て、終了時刻を延長しなかった。」肯定的な評価90%以上→				
	図書館の利用促進	朝の読書の完全実施で読書量は増えているが、読書ができない生徒も一部ある(読んでいない)を促している)→同じ本を読んでいる)いかなど時々回って確認する。 ・授業などでの図書館利用は利用状況を休みの中に作成し、司書・司書教諭がどんどん声をかける。	読書環境の整備	朝の読書・チャレンジデーの呼びかけなど、図書委員会を中心とした生徒への読書活動を啓発する。 授業(言語活動、地域教材、調べ学習など)における図書館活用の推進・把握、図書館の環境整備、本を選定する。				生徒が毎月3冊以上本を読んでいる。		教職員質問紙「図書委員のアンケート」教職員等図書館活用、図書館の書籍、資料の活用を行っている。肯定的な評価50%以上				
		引き続き、できるだけタイムリーな指示を心がける。わかりやすい放送、を提供するように努める。	放送、掲示を利用した生徒への情報提供	昼の放送の実施、掲示物の管理をする。				生徒が当番活動忘れずすることができる。		教職員質問紙「校内・教室内の掲示物は適切に管理されている」肯定的な評価90%以上→ 「昼の校内放送は正確な情報をわかりやすく提供している」肯定的な評価90%以上→				
道徳教育の推進	道徳教育の推進	生徒質問紙「道徳の授業は学んだりを覚えさせられたりすることがある」89% 「日常のルール・マナー・モラルを大切にしている」96% 教職員質問紙「道徳授業の改善に努めている」80% 数字でははかれない部分もたくさんある。2学期も引き続き、生徒の意識や行事等を考慮し取り組む。 ・情報・モラル教育の実施	全教科全領域における道徳教育の実施	学校行事を通して、集団での存在意義を意識させ、社会の形成に主体的に参画する態度を育てる。				副読本の計画的活用により、自尊感情を高めていく指導にあたる		日常のルール・マナー・モラルを大切にしている生徒を育成する。 生徒の実態に応じた道徳の授業の実践に努める。	生徒質問紙「道徳の授業は学んだりを覚えさせられたりすることがある」90%以上→ 「日常のルール・マナー・モラルを大切にしている」90%以上→ 教職員質問紙「道徳授業の改善に努めている」80%以上→			
				1-(1)望ましい生活習慣	2-(3)友情	4-(4)集団生活の向上	4-(1)情報モラル	3-(1)生命尊重						